



本日 串木野学最終報告会を開催しました

3年生がこれまで取り組んできた成果を発表しました。会場となった文化センターには、生徒だけでなく、保護者や地域の方々にもお越しいただきました。「串木野学」に関心を持っていただいていることに感謝します。

右上写真は、ピコピコハンマーをマイク代わりにして発表の練習をしている場面です。ここ数日、各グループ単位でこのような風景が見られました。探究テーマに関して、取材してわかったこと、分析し、考え、自分たちなりにたどりついた結論、提言等を伝えることはもちろんのこと、生徒どうしでの想定問答を通して、さらに深めようとしている姿に感心しました。

そして、いよいよ本日が本番でした。プレゼンの中に踊り、歌唱、紙芝居、マンガ等々を盛り込み、聴衆を惹きつけるすばらしい発表ばかりでした。また、質問に対しての切り返しもなかなかのものだったと思います。この一年間の成長ぶりは、ホントにすごい。カッコよかったぞ！

1・2年生は、自分が3年生になったときをイメージできたでしょうか。串高の「探究マインド」をしっかり受け継いでくださいね。

最優秀賞 「町を綾なす 町×色による魅力発信の可能性」
(神蘭、楠生、堂蘭、堀之内、前田、宮田、山口)

優秀賞 「紙芝居で伝える海ゴミ問題」
(赤岩、川寄、田代)



「三菱みらい育成財団」からの助成が決定しました！

串高生の学びの柱である「串木野学」をさらに深化させていきたいと考えていくと、やはり財源が必要。ということで、年度当初に『串木野学』探究プロジェクト2.0—探究活動の「自走」を目指して—と題して、当財団に助成の申請をしました。書類審査、面接審査を経て、先週、助成金をいただけることが決定しました！今年度の助成額は161.9万円です。今後、3年間、助成金(上限額200万円)が交付される予定です。生徒たち自らが思った「調べてみたい」「聞きにいつてみたい」「交流してみたい」「作ってみたい」「発信してみたい」等々をサポートするための財源です。

この助成を活用して、串高の魅力発信とともに地域創生をになう高校のモデルとして、串木野学を次のステージへと発展させていきたいと思ひます。